

■作文の出題（過去3年分）

年度	テーマ
令和5年度	職位や経験年数に関係なく意見交換ができる職場風土づくりを実現するため、どのようなことを大切にしていけるべきか。あなたの経験を踏まえて書きなさい。
令和4年度	目標を達成するために努力することの大切さについて、あなたの経験を踏まえて書きなさい。
令和3年度	周囲の人から信頼されるためには、どのようなことが大切か、あなたの経験を踏まえ、述べなさい。

■論文の出題（過去3年分）

年度	区分	テーマ
令和5年度	事務B 学校事務D	横浜市では、近年外国人人口の増加傾向及び多国籍化が進む中で、国籍や文化的背景などにかかわらず、誰もが安全・安心に暮らすこと、更には誰もが自分らしく活躍できることを目標としています。そこで、この目標を達成するために、あなたは横浜市職員として、どのように取り組んでいきたいか、考えを述べなさい。
	事務C 学校事務E	横浜市では、生産年齢人口流入による経済活性化に向けて、「住居・交通・仕事において便利で選ばれるまち」を目指しています。 そこで、「住居・交通・仕事において便利で選ばれるまち」を実現するために、横浜市職員としてあなたはどのように取り組むことができるか、これまでの経験を踏まえて考えを述べなさい。
令和4年度	事務B 学校事務	横浜市は、人や企業が集い、つながり、新しい価値を生み出し続けるまちを目指しています。その実現のために、行政に求められる役割は何か、また、あなたは横浜市職員として、どのように取り組むことができるか、考えを述べなさい。
	事務C	横浜市では、人口減少の兆しが見え始めている中で、持続可能な市政運営の実現に向けた効果的な施策を検討しています。 あなたが考える持続可能な市政運営とは何か、また、その実現のためにどのように取り組むことができるか、考えを述べなさい。
令和3年度	事務B 学校事務	安全・安心な市民生活を守り、住みたいまち・住み続けたいまちを実現するために、横浜市としてどのような取組が必要か、あなたの考えを述べなさい。
	事務C	横浜市では、様々な分野の地域課題の解決に向け、区役所と局が連携して地域との協働を推進するため、職員のコーディネート力の強化を図っています。そこで、この協働をより推進するために、あなたが横浜市職員として必要だと考える視点と、これまでの経験で生かせることについて述べなさい。

※令和3年度、令和4年度の論文の出題における「学校事務」は令和6年度「学校事務D」に該当します。（「学校事務E」は令和5年度に新設した区分のため、過去の出題は令和5年度のみです。）